

別記様式 1

会 議 概 要 書

審議会等の名称	平成29年度 第4回 磐田市環境市民会議
担当部課名	環境水道部 環境課
会議の開催日時	平成29年11月14日(火) 午後1時30分～午後3時00分
会議の開催場所	市役所西庁舎 3階 特別会議室
出席者(職・氏名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員15名</li> <li style="padding-left: 20px;">(出席者14名：敬称略)</li> <li style="padding-left: 20px;">佐藤 和美、杉浦 聖、川島あつ江、諸井 康代、</li> <li style="padding-left: 20px;">安間真由美、安藤 浩子、鈴木 昇、松尾 陽子、</li> <li style="padding-left: 20px;">村田 慎哉、今泉 佳代、出羽 正二、今村 信大、</li> <li style="padding-left: 20px;">豊田 榮、清 真人</li> <li style="padding-left: 20px;">(欠席者1名：敬称略)</li> <li style="padding-left: 20px;">鳥山 博好</li> <li>・(事務局3名)</li> <li style="padding-left: 20px;">環境課長、課長補佐、環境保全グループ 副主任</li> </ul>
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次磐田市環境基本計画(案)について</li> <li>・平成29年度における取り組み内容について</li> </ul>
配付資料等の件名	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)平成29年度 第4回磐田市環境市民会議次第</li> <li>(2)磐田市環境市民会議委員名簿・席次表</li> <li>(3)第2次磐田市環境基本計画(案)</li> <li>(4)後期基本計画の数値目標の達成状況</li> </ul>
概 要	<p>※会議の発言内容、審議経過等を記載</p> <p style="padding-left: 40px;">会議(司会：環境課課長補佐)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)開会(環境課課長補佐)</li> <li>(2)環境課長あいさつ</li> <li>(3)会長あいさつ</li> </ul>

	<p>(4) 議事（議長：佐藤会長）</p> <p>〈1〉 第2次磐田市環境基本計画（案）について</p> <p>〈2〉 平成29年度における取り組み内容について</p> <p>【説明概要】事務局（環境保全グループ 副主任）</p> <p>・第2次磐田市環境基本計画（案）について、資料を用いて説明した。</p> <p>【質疑応答・意見交換】</p>
<p>会 長</p>	<p>市（行政）、市民、事業所の皆さんが協力し合って、環境保全活動を行っていくことが大切だと思います。中でも、事業所の方々に環境保全に対する意識を持っていただきたいと思います。市民の方々の活動に加えて、市内の事業所の方々が同じ意識を持ち経営活動の中に環境保全活動を組み込んでいくと、活動は大変大きなうねりとなるからです。既に、CSR活動として行っている会社もありますが、すべての事業所の方々が環境保全活動を取り入れるようになっていただきたい。そのために、エコアクション21の取得、また、実施した環境保全活動を市民の皆さんに紹介し評価する具体的な施策を基本計画に盛り込むことを期待したいところです。環境保全活動を行うことが、単に社会貢献に終わるのではなく、事業所の価値を高めることにつながる仕組みを構築することが大事だと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>2点ありますが、まず16ページですが右側にそれぞれイラストが掲載されています。イラストについては、目標が達成できた様子のイラストの方が良いと思います。もう一つが2ページ、計画策定の背景でパリ協定について記載がありますが、パリ協定を踏まえて国が進めている省エネや低炭素型の商品やサービスを選択する国民運動のクールチョイスについて、27ページの市民・事業者の取り組みの中で盛り込んでいただいたらどうかと思います。パリ協定後に改定や策定した他市町の計画を参考にさせていただければと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>説明の中で、磐田市が環境についての取り組みについて「発信する」</p>

	<p>ということを強調されていましたが、目的は発信することではなく、いかに暮らす人々が満足しながら暮らしやすさを実感できるか、ということにあると思いますので、そこを強調していただければと感じました。</p>
<p>委 員</p>	<p>市民が知らないうちにいつのまにか環境に優しいまちづくりに参加していた。そんな仕組みを作ってあげる必要があると思います。発信はそのような実績があって効果があることだと思います。個々の色々な取り組みの目標が出ているので、それをいかに具体的に市民の方々が参加できるような仕組みを作っていくかが大事で、計画だけ掲げるだけでは、なかなか具体的なところまで達していかないと思います。せつかくですので、日本一環境にやさしい住みやすいまちの発信ができるような取り組みが市民の間に広がっていけばもっともっとPRできるのではないかと思います。</p> <p>指標については、具体的に取り組んでいることを数値として基準を表す事は難しいことだと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>参加し行動を起こすことは大事ですが、参加すれば良いだけではなく、参加した結果環境保全がどこまで進んだかということも基準にすべきですね。</p>
<p>委 員</p>	<p>一般市民に浸透していくようなPRをしていく必要があると思います。細かいことですが、18 ページ記載のノーカーデーの取り組みについてなどは市職員だけではなく、市全体、市民一人ひとりに広がるような働きかけが重要な事だと思います。また、23 ページの歴史文化について記載がありますが、現在少しずつ文化財など公開される機会が増えています。今後、例えば交流センター等を活用して少しずつでも広げていくことが大切だと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>市の歴史文化に関する施設はどういったものがあるのでしょうか。</p>

事務局	<p>市の歴史、文化財関係の施設としては、旧見付学校、旧赤松家記念館、埋蔵文化センター、竜洋郷土資料館、豊岡農村民族資料館などがあります。文化財担当部署においてもこういった施設の活用を目標として捉えており、第2次総合計画においても施設の入館者数を目標値として定め、国分寺跡の整備についても総合計画の中で進めていくと定めています。</p>
委員	<p>環境教育もそうですが、例えば色々な施設を見学に子ども達が行った後、自分達で再度訪れるなどの行動を起こしているかどうか重要です。教育の中でどのように子ども達に伝えていくか。実際、自然体験などでは先生や親ではなく、子ども達が目を輝かせています。そのような体験をさせることで、次につながっていく。何を見たのではなく、子ども達が再度、親を連れて行きたいと思うようにさせるのか、そういったことが大切だと感じています。今回の計画における具体的な目標では子ども達への環境教育についてたくさんうたっていただいておりますが、それを実際に現実にしていくにはどうしていくか考え、教育委員会とも連携して進めていく必要があると思います。</p>
委員	<p>歴史文化施設において、夏休み等にスタンプラリーなどのイベントを開催いただいておりますが、子ども達がどこに興味を持つかという入口をなかなか見つけられていないということが現状ではないかと感じています。例えば興味を持たせる場所として学校や幼稚園などに求めていくことが必要かもしれません。</p> <p>今年度アースキッズ事業ボランティアに参加し感じていることは、各学校の校風や育つ環境で子ども達の個性がすごく違うと感じています。それだけ子ども達は素直に受け止めて、周りの環境に影響を受けているのだと思います。例えば自然豊かな環境が身近にあり考えられる場所があると自然と環境について考えることが習慣として身に付き、それが大切なことだと思います。節電したり節水したりすることを意識するのではなく、ふとした時に思い出せるようになることが</p>

	<p>本当の教育であると思います。子ども達にはいつも今行っていることが 10 年後の自分達の世界に結果として出てくるということを伝えていきます。子ども達がどう感じ取っているかは分かりませんが、小さな努力の積み重ねが大切だと思いますので、環境教育についてはもっともっと広めていく必要があると思います。</p> <p>31 ページ、基本目標 6 の環境指標の「学校給食における残菜量」ですが、食育はとても大切で食生活は小さい時からの習慣であり、給食は色々な食材を目にする機会、そこで地元の食材を使っていて調理されることを学ぶ良い機会だと思います。残菜量については、給食は決められた量を体格の違う子どもが食べきれないといけない。環境面、食育の観点だけから考えるだけで良いのか、少し疑問を感じました。</p>
事務局	<p>環境指標については担当部署とともに作業部会にて検討し作成いたしました。今回目標とさせていただいた理由としては、残さず食べることを意識するためということもありますが、単純に量だけで判断するだけではない、誤解のないような他の見方もできるかどうか再度検討させていただくようにします。</p>
委員	<p>短い時間で残してはいけないので食べるように強制してしまうと苦痛に感じてしまうことがあるので、ただ単純に残菜量としてしまうと無理が生じてしまう事があると感じました。</p>
会長	<p>環境への配慮もありますが、個人差もあることですので難しい問題だと思います。給食の取り組み方と一緒に考える必要がありますね。</p>
委員	<p>22 ページ、環境目標 3-1 人と自然とのふれあい活動の場の創出・活用 ①自然とのふれあいの場の整備・活用について、最近では自転車やウォーキングがブームとなっています。磐田市には河川がたくさんあるので、河川堤防を活用した自転車道の整備について触れても良いかと思いました。</p>

	<p>また、26 ページ、再生可能エネルギーについてですが、太陽光や風力発電について掲載があります。例えば牧之原市ですとバイオガス発電を推奨していると聞いています。そのような取り組みも磐田市で実際に取り組みがあれば記載しても良いと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>豊岡地区には木々がたくさんあり、現在はお金を出して切っただいている状況です。例えばバイオマス事業等に活用することができれば良いと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>一番の問題は人の手が入ると高価になってしまい手が出なくなってしまうことがあると思います。間伐材についても山から外に出すことが大変で手が出せないという現状があります。バイオマスについては再生可能エネルギーとしては良い面もあります。しかし、太陽光や風力発電も同様ですが、何かを作り出すことよりもまずはエネルギーを出来るだけ使わないようにすることを考えなければいけないと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>私達の生活の中で無駄な部分を除いていく生活を目指すことが大切だと感じます。そのことにより、環境破壊はかなり無くなるものだと思います。バイオマス事業などの新事業については、その仕組みをまず考えて構築していくことが大切ですね。</p>
<p>委員</p>	<p>水質汚濁から公害について広がっていったということを子ども達から大人まで伝えていく事が大切だと思っています。その一つとして環境基準について掲載していくことが重要だと思います。</p> <p>また、太陽光発電についてもその機材も使用期限があると思います。そのような背景も考えて太陽光発電だけではなく今後どのように進めていくべきか考えていく必要があると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>子ども達が 10 年後や 20 年後、大人になった時に農業や畜産業なども含め社会が成り立っているかどうか心配です。大人が環境問題につ</p>

	<p>いて真剣に考えていく必要があると思います。</p> <p>また、緑のカーテンについては今年度幼稚園や保育園において取り組みに関わらせていただきましたが、学校や公共施設で広めていければ良いと思っています。地域サポーターのような形で関わることでより広めていければ良いと思っています。</p>
会 長	<p>今回の計画では具体的な目標である指標の数が減り、市民・事業者の取り組みがより具体的に書かれています。そのような形で変わりましたがこういった点についてはどうでしょうか。</p>
委 員	<p>見やすくなったと思います。</p>
委 員	<p>もう少し指標があっても良いと思います。</p>
委 員	<p>考え方の一つとして、さきほど説明の中でありました、磐田が環境分野でPR、発信できるまちにすることから考えると磐田市が行っていることを徹底して目に見える形を出して市民意識を広げていくことも一つの方法として必要なのではと思います。</p>
	<p>議事（２） 平成29年度における取り組み内容について</p> <p>【説明概要】事務局（環境保全グループ 副主任）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記内容について資料を用いて説明した。</li> </ul>
会 長	<p>それでは、本日の議題に対する意見交換はここで終了といたします。本日もたくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。</p>
	<p>(5) その他（今後の日程について事務局より連絡）</p>
	<p>(6) 閉会（環境課課長補佐）</p>